

地域学校協働活動事業訪問

大玉村訪問

訪問日：令和2年10月20日（火）10：20～12：00

場所：大玉村立大山小学校～おおやま元気っ子農園

内容：第5学年総合的な学習の時間「そば収穫」

大玉村では、コーディネーターが頻りに学校を訪れ、学校のニーズに合ったボランティアを紹介するとともに、地域の方々がボランティアとして活躍できる場面を大切にしています。今回は、3名のボランティアの方々においていただき、総合的な学習の時間「そば収穫」の授業実践が行われました。

初めに、脱穀作業を行います。児童は小槌や脱穀機の使用方法について説明を受けました。ボランティアの方々の説明を注意深く聞き、けがをしないよう周囲の状況を確認しながら茎から実を落としました。

次は選別作業です。児童は、ふるいの使い方を教えていただくと、友達と交代しながらそばの実と葉や茎を選別し、そばの実を袋に詰めていました。

脱穀・選別が終わった児童は、もう一度畑を見回り、落ち穂拾いをしました。自分たちでできることを見つけて協力する姿が見られました。



【児童から】

- 種から植えたそばが大きくなっていく姿を見るのは、とても楽しみでした。
- 種を蒔くのはあっという間ですが、大きく育つまでには長い時間がかかることがわかりました。
- 自分たちで種を蒔き、育ててきたそばを収穫するのが嬉しかったです。

【ボランティアの方から】

そばを打って子どもたちと一緒に食べるのが楽しみです。また、昔から使われている道具に触れてもらい、先人の知恵についても学んでほしいと思います。

【校長先生から】

学校の教育活動を進めていく上で、地域の方々にボランティアで入っていただき支援していただくことにより学校だけではできないことが可能になっています。また、地域の方々は「子どもたちの笑顔が見たい」と学校の様々な教育活動に協力してください。そうした思いを大切にしながら地域と学校との関係づくりを進めていきたいと思ひます。



訪問を通して

大玉村は、「地域と共に歩む学校」の実践を目指しています。今回の訪問を通して、地域学校協働本部とコミュニティスクールが連携・協働し学校・コーディネーター・ボランティアが強く結びつくことでより充実した活動につながる事が分かりました。

また、ボランティアの方々は、子どもたちが自分で気づき、考え、行動することの大切さを理解して学習活動に参加しています。そのボランティアの方々の関わりが子どもたちの主体的な学びの育成の一助となっていると感じました。